

## ▶ 「安全管理セミナー」及び「S-KYT研修(2時間コース)」を実施して ◀

札幌市豊平消防団

### 1. 札幌市豊平区と豊平消防団の概要

札幌市豊平区は人口約218,200人、面積46.23平方キロメートル(東京ディズニーランド約200個分)に緑豊かな丘陵地と、豊平川をはじめとする河川も多く、豊かな自然に恵まれております。

豊平区の街並みをその歴史や位置から分類すると、豊平・平岸・月寒の三地域に大別されます。豊平地域は、明治時代からの歴史を感じさせる寺社と再開発事業による近代的なホテルや住宅のビルが新旧の味わいを見せています。平岸地域はかつて平岸リンゴの産地として名をはせましたが、現在は都心に直結する住宅地に変貌しています。月寒地域は落ちついた住宅街ですが、北海道日本ハムファイターズの本拠地である札幌ドームも、この地域内の羊ヶ丘にあります。

この豊平区の地域防災の担い手として活動しているのが、札幌市豊平消防団です。設立は明治27年、当時の豊平村の私立消防組として組織されました。

昭和36年の札幌市と豊平村の合併により、現在の札幌市豊平消防団となり、120年を超える

歴史があります。現在は、松本吉正団長以下158名、1本部、6分団で構成され、昼夜を問わない災害対応はもちろん、女性消防団員が中心となった市民への救命講習、高齢者宅への防火訪問など、豊平区の安心と安全の確保に努めております。

### 2. 安全管理セミナー及びS-KYT研修の開催に至った経緯

この度の研修は札幌市豊平消防団が研修担当となり、札幌市内の白石、厚別、清田、南消防団との合同で実施しました。開催に至った経緯の中でもっとも大きかった理由として、平成26年度に「S-KYT研修(4時間)」を受講した消防団員の方々から、「自分の身は自分で守り、チームで課題を出し合う研修は非常に有益であった。」という意見があったことから、少しでも多くの団員に受講して欲しい、また、新しく安全管理に特化した内容の研修も受講してみたいという思いから、消防団員等公務災害補償等共済基金に、講師派遣を依頼させていただきました。



S-KYT 研修の様子 1



S-KYT 研修の様子 2

### 3. 安全管理セミナー及びS-KYT研修を開催して

消防団員等公務災害補償等共済基金から派遣された河村氏、佐々木氏、藤吉氏の3名を講師に迎え研修の開催となりました。御三方とも常備消防である、札幌市消防局のOBということもあり、知識が豊富なことはもとより、教え方がとてもわかりやすく、受講者は一つ一つの確認事項を漏らさずに覚えるべく、真剣に受講しておりました。

安全管理セミナーでは全国的な消防団員の公務災害発生状況等や消防活動上の危険要因などを座学形式で学びました。健康管理等、日常からできることが多々あることを教えていただきました。



安全管理セミナー

S-KYT研修では参加者を9班に分けて、事例が出され、潜む危険要因をディスカッションし、最後は3班ごとに発表し、それぞれの安全管理に対する意識を高めました。

### 4. 今後の取組について

消防団員は危険な災害現場へ出動することが多々あります。昼夜を問わず、地域を守るという理念のもと、地域住民の安心・安全な生活を守るために活動することを常に念頭に置いております。そのため、近年増加している大規模災害時や、日常起こり得る火災現場等において、「自分の身は自分で守る」という意識をいかに高く持つことができるか、また、安全管理の意識を高く持つことができたならば、よりスムーズな現場活動を行うことができるということを常に意識し、受講者はもちろんのこと、まだ研修を受講したことのない消防団員に対しても研修で学んだことの大切さを広げ、消防団活動を発展させていきたいと思っております。